

「エキスポ'90 みのお記念の森」は大騒ぎ!? ～小学生が森を調べた! 「森の探検隊」～

10月29日(木)、箕面市立豊川北小学校の4年生65名が、箕面国有林「エキスポ'90 みのお記念の森」で当センター主催のプログラム「森の探検隊」を体験しました。

「森の探検隊」は、「エキスポ'90 みのお記念の森」内に設定された30箇所あまりのポイントから、あらかじめ参加者に選択してもらった5ポイントを巡り、各ポイントに設置された「指令書」の謎かけを解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。5～6名を1グループとし今回は12班編成としました。事前に、子供たちは、「ポイント名」

(例えば「枯れた木の秘密」)、ポイントの概要などを確認し、まわるポイントを選択し、記録係やカメラ係など役割分担を決めておくなど準備をして臨みます。また、大阪森林インストラクター会の協力により、事前のポイント設定のアドバイスの外、当日は引率役として会員7名にお手伝いをいただきました。

日頃訪れない山に入ってきたこともあってか子供たちは元気いっぱい、森を走って行ったかと思えば、ポイントでは「指令書」をみながら森や自然の不思議さや様々な発見について考える姿がみられました。クサギの葉をちぎってそのにおいをかいでみて驚いたり、シカ柵の内と外を比べて植生の違いから増えすぎたシカと森の関係を考えたり、20mほどに成長したヒノキをみて家を建てる柱が何本とれるか考えたりなど、森の多様性や効能、楽しさなどを感じてもらえたのではないかと思います。

午後は場所を箕面ビジターセンターに移し、



各ポイントに設置した「指令書」の一例

NPO 法人みのお山麓保全委員会の協力を得ながら、「水辺の生き物調査」、「森の自然工作」、「ビジターセンター見学」などが行われました。「水辺の生き物調査」では、箕面川から採取したトンボの幼虫など昆虫類や小動物を観察し、川の水質により水生の生き物は変わることを学びました。「ビジターセンター見学」では箕面の自然の豊かさを感じてもらえたようです。



箕面の森林は大切な宝物～「森の探検隊」成果発表会～



12月14日(月)には豊川北小学校で子供たちによる成果発表会が行われました。子供たちは、模造紙を使い大きなリーフレットを作成し、多くの人に箕面の森の良さ・大切さを伝えることを趣旨として班ごとに発表を行いました。

「森の中は気持ちがいいのでリフレッシュできる」、「景色がよく写真を撮るのによい」といった発表があれば、「森は『緑のダム』なので、水源としても、災害防止の観点でも重要なもの」、「森をつくるには何年もかかるので大変」といった話も聞かれ、いろいろな観点から森林をみてくれたことにうれしくなりました。そして何より発表している子供たちの表情が生き生きとしていました。「こんな森があるとは知らなかった」、「おもちゃやゲーム機がなくても楽しい」、「是非ほかの人にも来てほしい」といった発言もありました。

担任の先生から「『森の探検隊』は子供たちが楽しみにしていた。『成果を伝えたいので発表はがんばる』」と発表会の準備に励んでいた」と聞き、私たちも身の引きしまる思いでした。

これからも子供たちに山を楽しみ森に関心をもらえるようプログラムの改良につとめていきたいと考えています。

